

20 物品販売店舗等

【関連章第7章3】

事例2 「休憩室の電気ポットの電源コードから出火した延焼火災」

出火時分 4月 8時ごろ

用途等 複合用途（物品販売店舗・共同住宅等） 耐火造 7/1 延 2,000 m²

防火管理 該当選任あり 消防計画あり

被害状況 建物部分焼 1棟 30 m²等焼損

概要

この火災は、複合用途建物の店舗の休憩室内から出火したものです。出火原因は、休憩室内にある電気ポットの電源コード部分が経年使用により半断線し、コードの絶縁被覆が劣化したことにより短絡し出火したものです。

店舗従業員が出勤後、休憩室の電気ポットのコードを接続して、店舗内で开店準備をしていたところ、自動火災報知設備が鳴動し、煙が出ているのを発見したため、通報しようとして別の部屋に携帯電話を取りに向かいましたが、煙が充満し取りに行くことが出来なかったため、屋外に避難しました。

火災を発見した従業員から依頼を受けた、隣の事業所の従業員が携帯電話から119番通報しました。

教訓等

この火災は、電気ポットの電源コード部分が経年使用により半断線し、コードの絶縁被覆が劣化したことにより短絡し出火したものです。

日頃から使用している電気製品のコード、コンセント、差し込みプラグなどの点検や清掃を行い、使用していない器具はコンセントからプラグを抜きましょう。

また、コードの劣化を防ぐため、コードを束ねたり、ねじれたままの状態で使用せず、プラグを抜く際は、コード部を持って引っ張らずに、プラグ本体を持ちましょう。



写真 20-3 焼損した電気ポットの状況

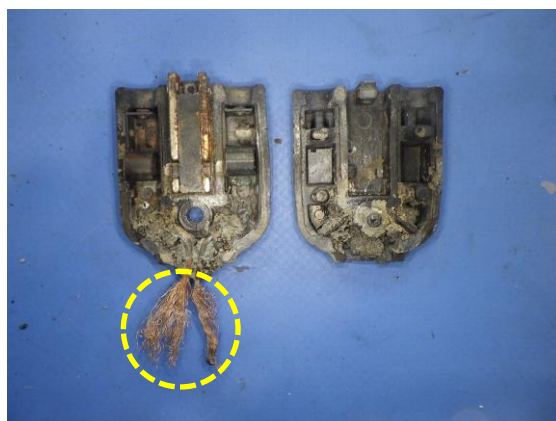


写真 20-4 コードの焼損状況

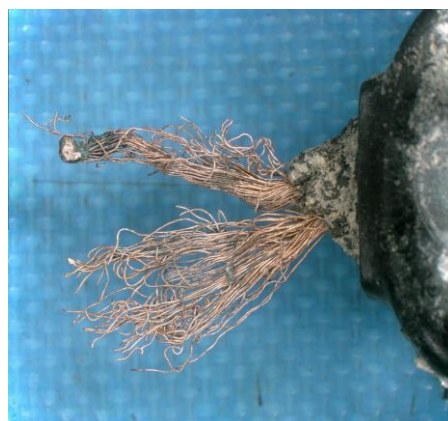


写真 20-5 断線箇所の状況